

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公表番号】特表2012-506298(P2012-506298A)

【公表日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2011-533268(P2011-533268)

【国際特許分類】

A 6 1 L 15/58 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 15/06

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月19日(2012.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) メタロセンポリプロピレンコポリマーで作製された不織布基材と、

(b) 前記基材の少なくとも片側にコーティングされた医療用感圧性接着剤と、を含む、医療用接着テープ。

【請求項 2】

前記不織布基材が、以下の特徴：20～100g/m<sup>2</sup>の坪量、0.05～0.4mmの厚さ、及び25cm水柱以上の前記不織布の静水圧値を有する、請求項1に記載の医療用接着テープ。

【請求項 3】

前記不織布基材が、長手方向及び横断方向において最大85%以上までの弾性回復率を有する、請求項2に記載の医療用接着テープ。

【請求項 4】

前記ポリプロピレンが、150,000～250,000の重量平均分子量、2.5以下の分子量分布、0.5～35g/10分のメルトフローレート、3～30%の結晶化度、15.2～27.6MPaの引張り強度、100～1,500%の伸張、80～97%の弾性回復率、-20～-30のT<sub>g</sub>及び40～160のT<sub>m</sub>を有する、請求項1に記載の医療用接着テープ。

【請求項 5】

前記ポリプロピレン不織布が、スパンボンド法で調製された不織布である、請求項1に記載の医療用接着テープ。